

# 令和3年度 宮崎小学校 スクールプラン

## 地域・保護者・教師の願い

- ・確かな学力
- ・健康な体
- ・豊かな心

## 働き方

それぞれの業務の目的に応じたICTの有効利用で、業務改善に努める。

## 教育目標

みんなが仲良く主体的に取り組む児童の育成

## めざす児童像

思いやりのある子 自ら学ぶ子 やり抜く子

## 研究主題

書く活動を通して考える力をつける

## 児童の実態

- ・素直でまじめに取り組む
- ・表現力がやや弱い
- ・習い事をしている児童が多い
- ・SNS, ゲーム等を長時間行う児童が多い

## 本年度目標

## 具体的方策(○は小中連携で重点とする取り組み)

## 中期重点目標

### 自ら学ぶ子

主体的に取り組む

### 深い学びに向かう授業づくり

主体的・対話的で深い学び合いができたと答える児童の割合を90%以上にする。

○つけたい力を明確にした単元構成の工夫をし、主体的に学び合い深い学びにつながる授業を実践する。

- ・さまざまな場で書く活動を取り入れ、考える力の育成に努める。
- ・自主学习ノートを学年の実態に合わせて活用し主体的な学びにつながる指導を行う。

### 基礎基本の定着

国語・算数の単元テストで、平均80点以上の児童の割合を80%以上にする。

- ・読書の指導を工夫し、読むことの習慣化を図る。
- ・「学び名人」を基盤とした言語活動を充実させる。

### 仲間づくり

自己肯定感・自己有用感をもち、学校が楽しいと答える児童の割合を90%以上にする。

○学習活動全般を通して、友だちのいいところを認め、教師からもいいところを紹介する場を設け、自己肯定感を高める。

- ・学校行事や縦割り活動、委員会、係活動を通して、自己有用感を育てる。

### 社会性の育成

美徳の五本柱(挨拶、返事、靴揃え、言葉遣い、黙働)が実践できたと答える児童の割合を90%以上にする。

- ・月の重点目標を設けることで、美徳の五本柱への意識を高めるとともに、各柱に対する具体的活動や自己を振り返る活動を通して思いやりと社会性を育てる。

### 体力の向上

目標をもって進んで運動に取り組むことができたと答える児童の割合を90%以上にする。

- ・全校統一の「がんばりカード」や、授業者が共有できる体育学習カードを活用し、目標と振り返りの一体化を図る。

### 健康の保持増進

規則正しい生活に心がけ、健康を意識できたと答える児童の割合を90%以上にする。

○家庭との連携を通じ、自ら規則正しい生活を送るルールづくりと家庭における情報リテラシーの推進を図る。

- ・きらきらチェックや保健、食に関する取組を通して、自己の健康への意識を高める。

### やり抜く子

健康な心と体をつくる

### 思いやりのある子

思いやりと社会性を育てる